

# 鉛中毒について質問したら賃金カット?? 命にかかわることを聞くのは当然のことだ、撤回しろ!

## なんの説明もなく強行した 当局こそ責任をとるべきだ!

越中島の貨車解体現場で、三名の仲間が賃金カット一時間の攻撃を受けた。しかも、本人が気がつくまで、理由はおろか、カットしたことまで何ひとつ、ひと言の説明もないのである。全く身におぼえのないことであり、理由を糾してみたと、七月二十九日に作業指示に従わなかった」というのである。

### 危険を百も承知で何も知らせず

「七月二十九日」とは七月二十五日に貨車解体作業が実は、鉛中毒の可能性のあるとんでもない危険作業であり、溶断で発生する鉛ガスをすい続ける、貧血・造血機能低下・手がきかなくなる・神経細胞がおかされて記憶喪失、減退などに進むということが、新聞で暴露された直後のことである。しかも、当局はこの危険性を百も承知しているながら、組合はもとより、本人にも一切知らせることなく隠しておいたのである。

七月二十九日は、この事実が明らかとなったのはじめて、千葉運行部当局が現場を訪れた日なのである。しかも、国労が現場視察に来ることがわかり、作業の危険性をいんべいするため、その視察団を阻止するピケ要員として土岐・秋山らを先頭に二〇名が動員されたのである。

### 質問するのはあまりにも当然

このような状況のなかで、実際にこの危険作業に就かされている本人たちから、「何でこんな重要なことを一言も言わずに隠していたのか」と質問が出されるのはあまりにも当然のことである。否、まじめな労働者であれば、質問が出ない方がおかしい話である。

これに対して当局の対応は、一言も質問には答

えず、「作業に就きなさい。ここはそんな論議をする場所ではない」（秋山）「お前らは、そんなこと言わずに仕事をしていればいいんだ」（土岐）という対応だったのである。そして、このやりとりが、「作業指示に従わなかった。賃金カットだ」というのである。

こんな目茶苦茶な話しがいったいどこにあるのか。少なくとも命にかかわる問題である。これを隠しておいていたのは当局なのだ。責められるべきは当局である。いったい何故、質問をしたからといって労働者が責められなければならないのか。われわれは、こんな暴虐を断じて許す訳にはいかない。当局よ、ただちに賃金カットを撤回せよ。



こんな危険な作業をさせておいてなんで賃金カットができるんだ、ふざけるな、撤回しろ!

## 解放同盟荒本支部 瀬川支部長

部落解放同盟荒本支部長、東大阪市民の会代表の瀬川博氏が東大阪市議選に出馬し、三、八四五票を獲得、五人中二四位でみごと再選を果たした。

瀬川市議は、東大阪市民の会の先頭に立ち、反戦・反核・中曽根打倒のためかへの決起を訴えるとともに、「市ぐるみの浄化槽清掃の助成金をめぐる汚職事



## 東大阪市民議選で 再選はたす

3845票を獲得

件弾劾・腐りきった北川自民党市政を刷新しよう」とたたかいてきた。この勝利は、反動中曽根政権へ痛打を与えるものであり、今秋、天皇訪沖反対、三里塚二期決戦、国鉄決戦勝利に向けた前進をかちとつたものです。この勝利をひきつぎ、出向阻止、反転攻勢をかちとるべくたたかいていこう!